第 008 講 ディスコースマーカー③ 対比の観点

学習目標

二つの対象を同じ観点で比べ、明示された違いと、その対比が段落の説明に果たす役割を読み取る。

読むときの手順

but、however、in contrast などは、対比を考える手がかりになる。ただし、語があるだけで対比と決めない。

まず「何と何を比べているか」を押さえ、次に「両方に同じ問いを向けたとき、何が違うか」を確認する。片方の場所ともう片方の速さのように、観点がずれた情報は対比の答えにしない。

最後に、前後の記述が本当に同じ観点で異なる内容を述べているかを確かめ、その違いが段落で何を説明しているかまで読む。具体例の追加や単なる情報の並列と混同しない。

©ミライコーチング

英文を読む

英文

On Saturday mornings, Maya's family makes a shopping list together before anyone goes to the nearby market. They choose either a paper list in the shopper's bag or a shared list on their phones. To compare the lists, they ask how the shopper learns about new items after leaving home. With the paper list, the shopper carries the only copy to the market. If someone at home remembers another item, that person must send a separate message to the shopper. Without that message, the shopper knows only the items on the paper. The paper list still helps when the family chooses all the items before the trip.

In contrast, a shared phone list shows new items to the shopper at the market after someone at home adds them. The shopper can read the new item on the same list without a separate message. This difference matters when family members remember more items during the shopping trip. On such days, the family may choose the phone list to share these changes during the trip. They do not believe that one kind of list is always best for every shopping trip. Their choice depends on whether shoppers must see new items after leaving home.

語注：shopper＝買い物に行く人／shared＝共有する／item＝品目・買う物

©ミライコーチング

問題

問 1

本文で家族が比較している二つの対象を、一組として答えよ。

問 2

二つの対象に共通する比較の観点は何か。それぞれの特徴ではなく、比べている事柄を答えよ。

問 3

紙のリストでは、買い物に出た後に家の人が品目を思い出したとき、買い物中の人はその品目をどのように知ることになるか。

問 4

スマートフォンの共有リストでは、出発後に家の人が品目を追加したとき、買い物中の人はその品目をどのように知ることができるか。

問 5

後半冒頭の In contrast は、前半と後半の情報をどのような関係で結んでいるか。単なる情報の追加や具体例の提示ではないことが分かるように、一つの関係として説明せよ。

問 6

後半段落で、この対比は家族によるリストの選び方を説明するうえでどのような役割を果たしているか。個々のリストの特徴を再び並べるのではなく、段落の説明目的との関係を答えよ。

©ミライコーチング

解答・解説

問 1

模範解答

紙の買い物リストと、スマートフォンで共有する買い物リスト。

前半の They choose either a paper list in the shopper's bag or a shared list on their phones. が、家族の使う二つのリストを並べている。
ここでは、比較している二つのリストの名前を答えればよい。「紙とスマートフォン」とだけ答えるのではなく、**何のリストか**が分かる形にまとめる。比較の観点や特徴は問 2〜問 4 で扱う。

問 2

模範解答

買い物に出た後の新しい品目を、買い物中の人がどのように知るかという観点。

前半の To compare the lists, they ask how the shopper learns about new items after leaving home. が比較の基準を明示している。問われているのは「どんなリストか」ではなく、**出発後の追加情報の伝わり方**だ。
「紙では別の連絡が必要」「共有リストでは同じリスト上で確認できる」は、観点に対するそれぞれの答えであり、観点そのものではない。「追加品目の伝達方法」「外出後に新しい品目を確認できる方法」も同じ意味ならよい。

問 3

模範解答

家にいる人から別のメッセージを送ってもらう必要がある。

前半では the shopper carries the only copy とあり、一枚しかない紙のリストを、買い物に行く人が持っている。続いて must send a separate message と明記されている。したがって、出発後に家で思い出した品目は、紙に自動で増えるのではなく別連絡で伝える。
紙のリストが「使えない」とするのは言いすぎだ。前半末尾は、出発前に品目が決まっている日には紙のリストも役立つと述べている。答案は出発**後**の伝達方法に絞る。

問 4

模範解答

家の人が追加すると、店にいる人が同じ共有リスト上でその新しい品目を確認できる。

後半冒頭の shows new items to the shopper at the market after someone at home adds them と、その次の on the same list without a separate message をつなげる。家で追加する人と、店で確認する人は別だが、**同じリスト**を通じて情報が届く。
「スマートフォンの方が便利」では比較軸上の情報が欠ける。「別メッセージなしで同じ共有リストを見れば分かる」という言い換えは適切だ。

問 5

模範解答

出発後の追加品目の伝わり方について、紙では別連絡が必要なのに対し、共有リストでは同じリスト上で確認できるという、同一観点での違いを結んでいる。

前半の If someone at home remembers another item, that person must send a separate message to the shopper. と Without that message, the shopper knows only the items on the paper. が、紙のリストでは追加品目を別のメッセージで伝える必要があると示している。
In contrast は、直前の一文だけではなく、この紙のリストの説明と後半の共有リストの説明を対比させる。後半では、家の人が加えた品目を店にいる人が同じ共有リストで確認できる。二つは**同じ問いへの異なる答え**になっている。

共通の観点	対象 A：紙の買い物リスト	対象 B：スマートフォンの共有リスト
出発後の追加品目をどう知るか	家から別のメッセージを受ける必要がある	家で追加された品目を同じ共有リストで確認できる

後半は紙のリストについて別の情報を付け足しているのではなく、**別の対象**について同じ観点から述べている。また、共有リストは紙のリストの一例ではないため、抽象的な説明を具体例に直した関係でもない。In contrast の訳語だけでなく、この対応を一文の関係説明にする。

ミライポイント！

対比の標識を見つけたら、二つの対象に同じ問いを向ける。両方の答えが本文にあり、その答えが異なるとき、初めて対比として確かめられる。

問 6

模範解答

買い物の途中で品目を伝える必要がある日には、家族が共有リストを選ぶことがある理由を明らかにする。

後半の This difference matters when family members remember more items during the shopping trip. は、この違いが、買い物の途中で追加品目を思い出す場合に意味を持つと述べている。
続く On such days, the family may choose the phone list to share these changes during the trip. では、そのような日に共有リストを選ぶことがあると説明している。買い物の途中で追加品目を伝えたい場合、**同じリスト上で確認できる点が、共有リストを選ぶ理由になる**。 つまり、この対比は単に二つのリストの違いを示すだけでなく、**家族の選び方を説明する根拠**になっている。
問 5 は二つの情報の**結びつき方**を答える問題だが、問 6 はその結びつきが**段落の説明をどう進めるか**を答える問題だ。末尾の Their choice depends on whether shoppers must see new items after leaving home. も、選ぶ条件を示している。「共有リストが必ず良い」とはせず、may choose の「選ぶことがある」を保つ。

©ミライコーチング

全文の構造分析

S＝主語、V＝動詞、O＝目的語、C＝補語、M＝修飾語。内側の句・節の働きは、S′・V′・O′・C′・M′のように「′」を付けて英文のすぐ下に示す。外側の文全体での働きは、その下段に S・V・O・C・M で示す。名詞句・節は〈 〉、形容詞句・節は〔 〕、副詞句・節は( )で囲む。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(On Saturday mornings), 〈Maya's family〉 makes 〈a shopping list〉 together
M　　S　　V　　O　　M

(before anyone goes (to the nearby market)). 〈They〉 choose 〈either a paper list 〔in the
S′　V′　M′　　S　　V　　O
M

shopper's bag〕 or a shared list 〔on their phones〕〉. (To compare 〈the lists〉), 〈they〉 ask
V′　O′　　S　　V
M

〈how 〈the shopper〉 learns (about new items) (after leaving home)〉.
M′　S′　V′　M′　M′
O

(With the paper list), 〈the shopper〉 carries 〈the only copy〉 (to the market).
M　　S　　V　　O　　M

(If 〈someone 〔at home〕〉 remembers 〈another item〉), 〈that person〉 must send
S′　V′　O′　　S　　V
M

〈a separate message〉 (to the shopper). (Without that message), 〈the shopper〉 knows
O　　M　　M　　S　　V

〈only the items 〔on the paper〕〉. 〈The paper list〉 still helps (when 〈the family〉 chooses
O　　S　　M　　V　　S′　　V′
M

〈all the items〉 (before the trip)).
O′　　M′

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(In contrast), 〈a shared phone list〉 shows 〈new items〉 (to the shopper 〔at the market〕)
M　S　V　O　M

(after 〈someone 〔at home〕〉 adds them). 〈The shopper〉 can read 〈the new item〉
S′　V′　O′　S　V　O
M

(on the same list) (without a separate message). 〈This difference〉 matters
M　M　S　V

(when 〈family members〉 remember 〈more items〉 (during the shopping trip)).
S′　V′　O′　M′
M

(On such days), 〈the family〉 may choose 〈the phone list〉 (to share 〈these changes〉
M　S　V　O　V′　O′
M

(during the trip)). 〈They〉 do not believe 〈that 〈one kind 〔of list〕〉 is always best
M′　S　V　S′　V′　M′　C′
O

(for every shopping trip)〉. 〈Their choice〉 depends (on 〈whether 〈shoppers〉
M′　S　V　S′
M

must see 〈new items〉 (after leaving home)〉).
V′　O′　M′

一文ずつの対訳

対訳

On Saturday mornings, Maya's family makes a shopping list together before anyone goes to the nearby market.
土曜の朝、マヤの家族は、誰かが近くの市場へ行く前に一緒に買い物リストを作る。

対訳

They choose either a paper list in the shopper's bag or a shared list on their phones.
家族は、買い物に行く人のかばんに入れる紙のリストか、家族のスマートフォンで共有するリストのどちらかを選ぶ。

対訳

To compare the lists, they ask how the shopper learns about new items after leaving home.
二つのリストを比べるために、家族は、買い物に出た人が出発後の新しい品目をどう知るのかを考える。

対訳

With the paper list, the shopper carries the only copy to the market.
紙のリストを使う場合、買い物に行く人は、一枚しかないそのリストを市場へ持っていく。

対訳

If someone at home remembers another item, that person must send a separate message to the shopper.
家にいる人が別の品目を思い出したら、その人は買い物中の人に別途メッセージを送らなければならない。

対訳

Without that message, the shopper knows only the items on the paper.
そのメッセージがなければ、買い物中の人には紙にある品目しか分からない。

©ミライコーチング

対訳

The paper list still helps when the family chooses all the items before the trip.
それでも、家族が出発前にすべての品目を決める日には、紙のリストも役に立つ。

対訳

In contrast, a shared phone list shows new items to the shopper at the market after someone at home adds them.
これに対して、スマートフォンの共有リストは、家にいる人が品目を追加すると、それを市場にいる買い物中の人にも表示する。

対訳

The shopper can read the new item on the same list without a separate message.
買い物中の人は、別のメッセージがなくても、同じリストでその新しい品目を読むことができる。

対訳

This difference matters when family members remember more items during the shopping trip.
この違いは、家族が買い物の途中で追加の品目を思い出したときに重要になる。

対訳

On such days, the family may choose the phone list to share these changes during the trip.
そうした日には、家族は買い物の途中で変更を共有するために、スマートフォンのリストを選ぶことがある。

対訳

They do not believe that one kind of list is always best for every shopping trip.
ただし家族は、どちらか一方のリストが、どの買い物でも必ず最もよいとは考えていない。

対訳

Their choice depends on whether shoppers must see new items after leaving home.
どちらを選ぶかは、家を出た後で買い物中の人が新しい品目を確認する必要があるかどうかによって決まる。

©ミライコーチング